

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンFC白山				公表日	2026年 3月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		目的ごとに部屋を分け、児童がそれぞれの場所で目的に応じた活動をしている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		送迎を含む人員配置が出来るように工夫している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	室内においては段差無くすようにしている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		チェック表を用いて毎日清掃、週一回の大掃除を行っている。又イラストや写真を使って見える化している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	勉強部屋や相談室を設置している			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		目的に合わせた委員会を設置して行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員全体にフィードバックをしている	保護者様に対して周知不足があるので改善していきたいと思います		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々ミーティングを重ね、業務改善を心がけています			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	行っていない	他事業やパートナー企業の意見を取り入れている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に行っている			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		されている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		行っている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		行っている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		ABAを取り入れ、5領域に基づきサッカー療育を行っている			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		行っている			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	話し合いながら行っている			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	毎日リーダーをきめて行っている			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	基本は集団活動（サッカー療育）が主体だが、その他必要に応じて個別指導を行なっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日ミーティングを行い連携しながら支援に取り組んでいる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		サッカー療育やイベント活動以外の時間は、子ども達は自己選択をしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		主に児童発達支援管理責任者が参加しているが、状況に応じてプラスの人員も参加することがある	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	保育所等訪問は行っていないが、機会があれば行いたい	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	機会があれば行いたい	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	必要があれば行いたい	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	機会があれば行いたい	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		日程があれば参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時やHUGを使って行っている。また場合によってはLINEや電話で連絡を取り合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		講演会を行っている	
関係機関や保護者との連携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		支援プログラムについては見学や体験をしていただき、その他に関しては契約時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		お子様本人や保護者様のご意向をお聞きしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	兄弟を含めた参加型のイベントを年に数回行っている。又保護者会も開催している	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	SNSやHUG,LINE等を通して発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		留意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子様の特性に合わせた配慮を心がけています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		今後、企画していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを作成し、保護者様にとって必要がある物は抜粋して契約時にお渡ししている。また訓練を定期的に行っている	訓練にかんしては保護者様に周知不足があるので、今後改善していきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		てんかんにかんしては、契約時に聞き取りを行っている。又、急遽服薬が必要な場合は服薬依頼書を提出いただき、対応している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーにかんしては契約時に聞き取りを行っている。	今まで医師の指示に基づき対応が必要なお子様のご利用はないが、今後必要があれば行って行く
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	行っている	サッカー療育を行っている為転んだりボールがぶつかったりする可能性があります、その時は速やかに対応しております
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		委員会を設置して対応している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		今まで対応児童はいないが、今後必要がある場合は保護者様と話し合い、同意書をいただき個別支援計画に記載した上で支援を開始します。		